

2013年6月29日

マルチメディア DAISY で、母語も日本語も

多言語絵本の会 RAINBOW 代表 石原弘子

1) なぜ、活動をはじめたか

2000年4月 小さい子どもを連れて参加できる「にほんごの会くれよん」を設立

外国人親の育児情報の不足とかれらの**母語軽視**に気が付く

- ・私の言葉は、日本では必要がない
- ・夫から、知らない言葉で子どもに話さないでほしいと言われた
- ・電車の中で、子どもと韓国語で話していたら、ジロジロ見られたので、それ以来、電車では子どもと話さないようにしているなど

2) 多言語よみきかせ活動

理由：母語育成、継承は、家族だけの問題になっているので、社会が応援する機会をつくりたい。

- ・自分の言語がつかえる場の提供
- ・日本人に多文化、多言語にふれる場の提供

① 図書館のお話会

2005年12月 目黒区八雲中央図書館に多言語での絵本のよみきかせを提案

2006年2月から、月に1回15分であるが実現、以降継続している
これを機に、多言語絵本の会 RAINBOW を設立した

② 小学校での異文化理解教育事業への協力

2009年7月から教育委員会と協働事業。4年間で85クラスを訪問した。

実演：「おおきなかぶ」日本語と中国語

3) マルチメディアDAISY

理由：2009年3月、目黒区役所が目黒区子ども条例の啓発のために、区内在住の絵本作家 きむらゆういち氏に依頼をして、「目黒区子ども条例のえほん すごいよ ねずみくん」を発行した。1冊の絵本が言葉の壁を超えて、共有できるようになってほしい。

2009年5月～ 4言語（英語、中国語、韓国語、インドネシア語）に翻訳。

図書館で、翻訳冊子を本誌にはさみこみ、区民に貸し出し。

2010年 2言語（スペイン語、ポルトガル語）追加

2011年 7言語の録音図書を作成

第一回 言語的文化的多様性を生きる子ども達の

学習支援者井戸端会議」(1st POD)

2012年 2言語（タイ語、タガログ語）追加
2013年2月～ 10言語（ドイツ語追加）のマルチメディア DAISY を作成、
近々、フランス語を追加の予定。

目黒区の HP からダウンロードが可能。E-Book も視聴が可能になった。

<http://megurokodomonet.net>

- 日本語版「すごいよ ねずみくん」
- 英語版 “You Did It, Timmy!”
- 中国語版「你很棒 小老鼠」
- インドネシア語版「Tikus, kamu hebat lho !」
- 韓国語版「대단해 쥐돌아」
- ポルトガル語版「Voc ê é demais, Ratinho!」
- スペイン語版「Eres Fant ástico Ratoncito」
- タガログ語版「Nagawa mo, Timmy!」
- タイ語版 “ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ ”
- ドイツ語版 “Du hast es geschafft, Timmi! ”

4) 気がついたこと

① 求められているのは、母語と日本語の本

外国人の親が求めているのは、自国語だけの本ではなく、日本語と自国語の両方がある本である。

② 電子図書は、多言語に適している

マルチメディア DAISY など電子書籍は、1枚のCDに複数言語を収納できるので、多言語出版に適している。

著作権の問題が解決できる方法での提供を考えれば、普及できるし、質の向上も期待できる。

③ 地域の日本語ボランティア教室と地域図書館の連携で、継続的な多文化サービスができる

外国語絵本のよみかせではなく、多言語のよみかせをしてほしい。

日本語教室に参加する外国人と図書館が協力し合うと、継続的な多文化サービスができる。多言語よみかせを1回だけのイベントではなく、定期的なよみかせ活動にするために、連携があると良いと思う。